

## 1 か月児健康診査マニュアルの作成について

研究代表者 永光信一郎（福岡大学医学部小児科学講座）  
研究分担者 岡 明（埼玉県立小児医療センター）  
杉浦 至郎（あいち小児保健医療総合センター 保健室）  
研究協力者 和田 雅樹（新潟県庁 福祉保健部）  
金子 淳子（金子小児科）  
水野 克己（昭和医科大学医学部小児科学教室）  
守分 正（岩国医療センター 小児科・小児循環器科）  
岩本 梨恵（岩本医院）  
鈴木 俊治（日本医科大学 女性生殖発達病態学）  
馬詰 武（北海道大学病院 産科・周産母子センター）  
稲光 毅（いなみつこどもクリニック）  
板野 正敬（いたのこどもクリニック）  
松下 享（松下こどもクリニック）  
渡部 誠一（土浦協同病院附属看護専門学校）  
田原 卓浩（たはらクリニック）  
伊藤 隆一（的場医院）

### 研究協力機関

公益社団法人日本小児科医会 公益社団法人日本産婦人科医会 公益社団法人日本小児科学会  
公益社団法人日本産科婦人科学会 公益社団法人日本新生児成育医学会 山口県小児科医会  
一般社団法人日本外来小児科学会 公益社団法人日本小児保健協会 日本小児期外科系関連学会協議会  
全国保健師長会 公益社団法人日本看護協会 公益社団法人日本医師会

### 研究要旨

母子保健医療対策総合支援事業の一環として、令和6年より1か月児健康診査（以下「1か月児健診」という。）の費用助成が開始された。1か月児健診の目的は、1か月児に顕在化しやすい身体疾患を早期に発見し、適切な介入を行うことで疾病の予後を改善することである。また、養育環境を評価し、保護者への育児に関する助言を行うことで、乳児の健康の保持・増進を図ることも重要な役割となる。1か月児健診の具体的実施項目については、令和5年12月28日付けこ成母第375号こども家庭庁成育局長通知に、1.身体発育状況、2.栄養状態、3.疾病及び異常の有無、4.新生児聴覚検査、先天性代謝異常検査の実施状況の確認、5.ビタミンK2投与の実施状況の確認及び必要に応じて投与、6.育児上問題の6項目が示されている。これらの評価を身体的・精神的・社会的な側面から行い、適切な支援につなげることが重要である。そのため、健診の実施方法や診察内容を標準化し、医療機関が円滑に運用できるよう、1か月児の診療に関わる各団体の研究協力者が協議のうえ、マニュアルを作成した。研究班から、日本小児科医会、日本産婦人科医会、日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本新生児成育医学会に研究協力者の派遣を依頼した。

## A. 研究目的

本邦における乳幼児健診実施状況は、母子保健法第12条に基づき、市町村は、「満一歳六か月を超え満二歳に達しない幼児」、「満三歳を超え満四歳に達しない幼児」に対し、健康診査を行わなければならないとされている。それ以外の年齢についても、同法第13条において、市町村は、必要に応じ、乳幼児に対して健康診査を行うことと定められている。また、経済財政運営と改革の基本方針2023（骨太方針2023）第2章3.の少子化対策・こども政策の抜本強化においても、妊娠期からの切れ目ない支援の拡充、乳幼児健診を始めとする母子保健対策の推進が明記されている<sup>1)</sup>。さらに、令和5年に閣議決定された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」において、乳幼児期から成人期に至るまで切れ目なく包括的に支援するため、個々人の成長特性に応じた健診の頻度や評価項目に関する課題抽出やガイドライン作成等の方策の検討を行うことが示された<sup>2)</sup>。

近年、超少子化、核家族化（世帯分離）、女性の社会進出が進む中、こどもが健やかに生まれ育つための環境づくりの推進と向上が求められている。このような状況下で、母子保健医療対策の充実強化が期待されている。1か月児健診支援事業の実施により、自治体と実施機関の連携を密接にし、伴走型相談支援の効果的な実施につなげることが期待される。また、1か月児健診の実施が虐待の予防及び早期発見に資することから、こども家庭センター等の関係機関とも連携強化が図られる。虐待の徴候が把握された場合は、速やかに自治体の担当窓口へ情報共有されるような体制づくりが求められる。さらに、健診の実施方法や診察内容を標準化し、医療機関が円滑に運用できるよう、1か月児健康診査マニュアルを作成した。

## B. 研究方法

1か月児健康診査マニュアル草案の作成にあたり、1か月児の診療に関わる日本小児科医会、日本産婦人科医会、日本小児科学会、日本産科婦人科学会、日本新生児成育医学会の理事会に研究協力者の依頼を行った。また、マニュアルの初校については、上

記の関連団体に加え、日本小児保健協会、日本小児期外科系関連学会協議会、全国保健師長会、日本看護協会、日本医師会にも意見を求め、改訂を行った。

本マニュアルは、第1部（1か月児健康診査の目的・意義・実施体制・実際・判定）と第2部（1か月児健康診査時に注意すべき項目）の2部構成となっている。第1部では、令和5年12月28日付けこ成母第375号こども家庭庁成育局長通知（以下、通知）で示された1か月児健診の問診票と健診票の内容に準拠し、以下の項目が示されている。

- 第1章 1か月児健康診査の目的と意義
  - 第1節 目的
  - 第2節 意義
- 第2章 1か月児健康診査実施体制
  - 第1節 健診の実施時期
  - 第2節 健診の実施方法
    - (1) 健康診査を実施する担当者
    - (2) 健診の種類と必要な連携体制
    - (3) 問診票
    - (4) 健康診査票（健診票）
  - 第3節 自治体の役割
- 第3章 1か月児健康診査の実際
  - 第1節 問診項目とその解釈
  - 第2節 身体測定
  - 第3節 診察
  - 第4節 判定について
    - (1) 医師の所見による判定
    - (2) 子育て支援の必要性の判定

第2部では、通知で示された問診票・健診票には明記されていないものの、関連団体の研究協力者より1か月児の診療および保健指導において重要項目として取り扱うことが望ましい事項が示されている。次にその項目を示す。

- 第1章 健康を決定する社会的要因（Social determinants of health）の評価
  - 第1節 親子関係の評価
  - 第2節 両親と家族の健康評価
  - 第3節 生活環境の評価
  - 第4節 事故予防の評価
  - 第5節 その他
- 第2章 栄養
- 第3章 見逃してはいけない徴候・疾患
- 第4章 睡眠衛生指導

第5章 新生児期に認められる疾患  
 第6章 1か月児健康診査の留意事項  
 第1節 1か月児健診を起点とする  
     伴走型子育て支援  
 第2節 虐待の可能性が疑われた場合  
 第3節 予防接種のスケジュール説明  
 第7章 1か月児健康診査時の保護者の心理的支援  
 第1節 保護者の心理的状況  
 第2節 心理的アセスメント  
 第3節 心理的支援方法  
 第8章 1か月児健康診査で保護者から寄せられる質問  
 第9章 その他  
 第1節 早産・低出生体重で生まれた  
     児・保護者への配慮  
 第2節 #8000の案内  
 第10章 チェックリスト

(倫理面への配慮)

とくになし。

### C. 研究結果

各項目について、研究分担者・協力者の中から主担当者・副担当者を選定した。主担当者が執筆した原稿を、副担当者が校正した後、研究代表者およびこども家庭庁担当者が再校正を行い、校正原稿を研究班内で共有した。

最終草案原稿は、研究協力者が所属する団体のほか、研究方法で示されたその他の団体にも意見を求め、修正を行った。

#### 【第3章(1か月児健康診査の実際)第1節問診項目とその解釈について】

通知で示された問診票を以下に示す。この問診票は、1か月児健診を実施する医師及び助産師、看護師が、健診の目的に示された内容を網羅的にスクリーニングできるよう、質問項目を設定している。問診票の記載内容については、診察の前に、保健医療に習熟した医師、助産師、又は看護師が確認を行い、乳児の健康状態、身体疾患の早期発見、健康を決定する社会的要因の評価、育児相談の必要性など評価を行う。各々の問診項目の内容と解説の詳細は、1か月児健康診査マニュアルに記した<sup>3)</sup>。

1か月児健康診査問診票

※問診票は、主にお子さんの世話をなさっている方が記入してください。

の出 状生 態時	在胎週数 ( )週 出生時体重 ( )g		
器 質 的 疾 患 の 確 認	1 お乳をよく飲みますか。	(はい・いいえ)	
	2 元気な声で泣きますか。	(はい・いいえ)	
	3 大きな音にビクッと手足を伸ばしたり、泣き出したりすることはありますか。	(はい・いいえ)	
	4 お乳を飲む時や泣いた時に唇が紫色になることがありますか。	(はい・いいえ)	
	5 からだが特に柔らかいとか硬いとか感じたことがありますか。	(はい・いいえ)	
	6 うすい黄色、もしくはうすいクリーム色の便(便色カード1番から3番)が続いていますか。	(はい・いいえ)	
発 達	7 あなたの顔をじっとみつめることがありますか。	(はい・いいえ)	
	8 裸にすると手足をよく動かしますか。	(はい・いいえ)	
親 (主 な 養 育 者 ) や 子 育 て の 状 況	9 現在、お子さんのお母さんは喫煙をしていますか。	(なし・あり(1日_本))	
	10 現在、お子さんのお父さん(パートナー)は喫煙をしていますか。	(なし・あり(1日_本))	
	11 窒息の可能性がある柔らかい寝具等を選び、仰向けに寝かせていますか。	(はい・いいえ)	
	12 ソファやベッド、抱っこひもなどから転落、もしくは隙間に挟まってしまわないよう工夫をしていますか。	(はい・いいえ)	
	13 あなたはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。	(はい・いいえ・何ともいえません)	
	14 赤ちゃんをいとおしいと感じますか。	(はい・いいえ・何ともいえません)	
	15 子育てについて不安や困難を感じることはありますか。	(はい・いいえ・何ともいえません)	
	16 子育てについて気軽に相談できる人やサポートしてくれる人はいますか。	(はい・いいえ)	
	17 (きょうだいがいらっしゃる方へ)きょうだいのことで相談したいことはありますか。	(はい・いいえ)	
	18 お子さんのお母さんとお父さん(パートナー)は、協力し合って家事・育児をしていますか。	(そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない)	
	19 お子さんが泣き止まない時などに、どう対処したらよいかわからなくなってしまったことがありますか。	(はい・いいえ)	
接 予 種 防	20 現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて、どう感じていますか。	(大変ゆとりがある・ややゆとりがある・普通・やや苦しい・大変苦しい)	
	21 気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか。	(はい・いいえ)	
	22 物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	(はい・いいえ)	
	23 あなたご自身の睡眠で困っていることはありますか。	(はい・いいえ)	
	24 あなたは、ときどきご自身の時間をもつことはできていますか。	(はい・いいえ)	
	25 2か月頃から始まる予防接種の内容についてご存知ですか。	(はい・いいえ)	
	健康相談の内容		
	指導内容		
特記事項			

### 【第3章（1か月児健康診査の実際）の第3節 診察の項目について】

次ページに示す通知で示された健診票の診察項目1～17に沿って、診察上のPoint!をマニュアルに明記した。（以下参照）。

#### 1. 身体的発育異常

##### Point!

- ① 体重増加は分娩施設退院時から
- ② の増加率で評価します。
- ③ 頭囲の大きさに加え、体幹や四肢のバランスの評価も重要です。

#### 2. 外表奇形（形態異常）

##### Point!

- ① 着衣を外して全身を観察します。
- ② 外表奇形（形態異常）を疑う場合には専門施設に紹介します。

#### 3. 姿勢の異常

##### Point!

- ① 仰臥位で姿勢、四肢の動きを確認します。

#### 4. 皮膚

##### Point!

- ① チアノーゼを認めた場合には小児医療施設へ紹介します。
- ② 黄疸を認めた場合には閉塞性黄疸や母乳性黄疸等があることを認識します。

#### 5. 頭部

##### Point!

- ① 乳幼児身体発育曲線にプロットして、頭囲の大きさ、変化を評価します。
- ② 頸部の後ろを支え、頭部を軽度挙上した姿勢で、頭部全体を診察します。

#### 6. 顔

##### Point!

- ① 特徴的な顔貌を認めた場合には小児医療施設に紹介します。
- ② 目の診察では気になること、家族歴の聴取が大切で、眼瞼、眼球、結膜・角膜を確認します。

#### 7. 頸部

##### Point!

- ① 仰臥位にして、頸部の傾きや腫瘤の有無を確認します。

#### 8. 胸部

##### Point!

- ① 努力呼吸の有無を確認します。
- ② 胸部の聴診では心雑音の有無、心拍リズムおよび喘鳴の有無を聴取します。

#### 9. 腹部・腰背部

##### Point!

- ① 腹部膨満を認めたときは、排便の状況も確認します。
- ② 皮膚洞が臀裂より上にあったり、腫瘤や血管腫を伴った場合は専門施設に紹介します。

#### 10. 四肢

##### Point!

- ① 上下肢の形態や動きの異常を疑う場合には小児医療施設に紹介します。

#### 11. 神経学的異常

##### Point!

- ① 引き起こし反射、モロー反射は筋緊張や神経系の異常のスクリーニングとして有用です。

#### 12. 発育性股関節形成不全リスク因子

##### Point!

- ① リスク因子として、家族歴、女兒、骨盤位分娩があります。
- ② 診察所見では股関節開排制限と大腿・そけい部皮膚溝非対称が重要です。

#### 13. その他の異常

##### Point!

- ① 臀部や大腿内側などの目立たない部位に傷痕などがある場合は児童虐待を疑います。

#### 14. 新生児聴覚検査

##### Point!

- ① 新生児聴覚スクリーニング検査で要再検（リファー）だった場合にはその後の対応状況を確認します。

#### 15. 先天性代謝異常等検査の結果説明

##### Point!

- ① 先天性代謝異常等の検査結果を説明します。
- ② 要再検、精密検査の児では再検査の実施の有無や受診予定を確認します。

#### 16. 便色カード

##### Point!

- ① 便色カードを用いて、問診または肉眼で便色を確認します。

#### 17. ビタミンK<sub>2</sub>の投与

##### Point!

- ① ビタミンK<sub>2</sub>の内服状況を確認し、3か月法ではその後の予定も伝えます。
- ② 授乳方法も確認し、母乳栄養の場合には母親の食事指導も重要です。

1か月児健康診査票

受診日 令和 年 月 日			
身体測定(生後( )日)			
身長	体重	頭囲	栄養法
cm	g (増加量 g/日)	cm	母乳・混合・人工乳
診察所見	1 身体的発育異常		9 腹部・腰背部
	2 外表奇形		
	3 姿勢の異常		
	4 皮膚	ア 黄疸 イ 血管腫 ウ 色素異常 エ その他	10 四肢
	5 頭部	ア 頭血腫 イ 頭囲拡大 ウ 小頭症 エ 縫合異常	11 神経学的異常
	6 顔	ア 特異的顔貌 イ 目:白色瞳孔・角膜混濁・ 眼瞼の異常等 ウ 口:口唇裂・口蓋裂 エ 耳:小耳症・副耳・耳瘻孔等	12 発達性股関節形成不全リスク因子 (ア、またはイからの2項目以上)
	7 頸部	ア 斜頸 イ その他の頸部腫瘍	13 その他の異常
	8 胸部	ア 胸部の異常 イ 呼吸の異常 ウ 心雑音 エ 不整脈	14 新生児聴覚検査
	判定		15 先天性代謝異常等検査の結果説明
	1 異常なし 2 既医療 3 要経過観察		16 優色カード
	4 要紹介(要精密・要治療)		17 ビタミンKの投与
	紹介先		
	診察医名		
育児環境等	ア 母の心身状態 イ その他		
心配事	無・有( )		
栄養	良・要指導		
子育て支援の必要性の判定			
1 特に問題なし 2 保健師による支援が必要			
3 その他の支援が必要( )			
判定者			
記事(要紹介となった場合の結果等)			

【第3章(1か月児健康診査の実際)第4節判定について】

判定には、乳児の健康の保持及び増進、重篤な身体疾患の早期発見に視点を置いた医師の所見による判定と、健康を決定する社会的要因の評価や育児相談支援に対する子育て支援の必要性の判定がある。本マニュアルでは、これらの判定について記載している。

(1) 医師の所見による判定

1. 異常なし：  
診察や問診で所見がなく、疾病の疑いがないもの。
2. 既医療：  
健診日より前に診断された疾病や所見を、問診等から把握したもの。
3. 要経過観察：  
診察や問診等で疾病の疑いがあり、医療機関や行政等で経過観察の必要があるもの
4. 要紹介：  
診察や問診等で所見があり、医療機関で精密検査が必要なもの(要精密)  
診察や問診等で所見があり、医療機関で治療が必要なもの(要治療)

(2) 子育て支援の必要性の判定

1. 特に問題なし
  2. 保健師による支援が必要
  3. その他の支援が必要
- 保健師による支援とは、育児相談、生活相談を示し、その他の支援とは、管理栄養士・栄養士による栄養相談や、医療機関による産後のメンタルヘルス支援や、要保護児童対策地域協議会(要対協)等による支援対象児童等(要保護児童もしくは要支援児童及びその保護者)対応を示す。

D. 考察

1 か月児健診の実施場所は、一部の自治体では母親の産後1か月健診とは別に、小児科クリニックで行われているが、多くの自治体では分娩出産した産科医療機関で行われている。健診実施者は、小児科クリニックでは小児科医によって実施され、産科医療機関では産科医、または小児科医によって実施されているものと思われる。また産科・新生児科をもつ病院では、新生児科医によって実施されている。マニュアル草案の段階で、どの診療科医師を対象として作成されるかが、検討された。生後1か月程度で症状が出現する生命にかかわる重篤な疾患(先天

性心疾患、代謝疾患、胆道閉鎖症等)や、発育性股関節形成不全等の早期発見により侵襲的処置を回避できる疾患のスクリーニングの視点から、1か月児健診は、乳児の身体所見の取得に習熟した医師が実施することが望ましいとされた。また、眼科領域からは、欧米において広く標準的に実施されている検影器を用いた red reflex 法 (検影法) による眼疾患のスクリーニングを標準的な診察に含めるべきとの意見が寄せられた。実際に、米国小児科学会 (AAP) は新生児および乳幼児の健診において同検査の実施を推奨しており、国際的な標準に照らした対応が求められる。このような背景から、本マニュアルにおいても red reflex 法による検査を示した。

通知で示された1か月児健診の健診票 (診察所見 1~17) について、項目が多く、産科医にとってすべてを実施するのは困難であるとの意見が寄せられた。産科側から、1か月児健診で絶対に見逃してはいけない疾患をマニュアルに記載して欲しいとの要望があったため、第2部第3章に、「見逃してはいけない徴候・疾患」を設けた。1. 緊急性のある徴候として、多呼吸 (呼吸数 60 回/分以上)、頻脈 (180 拍/分以上) もしくは徐脈 (60 拍/分未満)、SpO<sub>2</sub> 低下 (95%未満)、発熱 (37.5°C以上)、2. 緊急性のある疾患 (細菌性髄膜炎、敗血症、尿路感染症、肥厚性幽門狭窄症等)、3. 早期診断・治療が必要な疾患 (胆道閉鎖症、先天性サイトメガロウイルス感染症、網膜芽細胞腫等)、4. 徴候から早期診断・治療に結びつく可能性のある疾患 (神経筋疾患等)、5. 指導により予防できる疾患 (発育性股関節形成不全、乳幼児突然死症候群) をマニュアルに記した。このほかにも、見逃してはいけない徴候・疾患をマニュアルに記載し、診察を効率的に、網羅的に実施できるよう、診察時のチェックリストをマニュアルに添付した。

## E. 結論

1か月児の診療に関わる小児科医・産科医・新生児科医が所属する学会・団体の協力のもと、1か月児に顕在化しやすい身体疾患を早期に発見し、適切な介入を行うことを目的として、健診の実施方法や診察内容を標準化し、医療機関が円滑に運用できるようにするための1か月健康診査マニュアルを作成した。

## 【参考文献】

1. 経済財政運営と改革の基本方針 2023 加速する新しい資本主義～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～. 2023.  
[https://www.cao.go.jp/press/new\\_wave/20230626.html](https://www.cao.go.jp/press/new_wave/20230626.html) (2025年4月29日アクセス)
2. こども家庭庁 母子保健の主な動き (通知・事務連絡等) 2023年 母子保健医療対策総合支援事業 (令和5年度補正予算分) の実施について  
<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/tsuuchi/2023> (2025年4月29日アクセス)
3. こども家庭庁 母子保健の主な動き (通知・事務連絡等) 2024年【別添】1か月児健康診査マニュアル  
<https://www.cfa.go.jp/policies/boshihoken/tsuuchi/2024/> (2025年4月29日アクセス)

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

1. 田中恭子, 岡田あゆみ, 長濱輝代, 作田亮一, 武内治郎, 永光信一郎 他. 心身相関をベースとした子どもの心の診療連携における課題と提言 日本小児科学会雑誌 (2024.6; 128(6): 851-858)
2. 児島加奈子, 瀬戸上貴資, 伊東和俊, 西岡笑子, 岡山久代, 松浦賢長, 川名敬, 榊原秀也, 永光信一郎. ヒトパピローマウイルス (HPV: Human papillomavirus) ワクチン接種を促進するための検討: 福岡大学でのアンケート調査の結果を基に 思春期学 (2024.42(2); 349-359)
3. Niimi T, Tanaka T, Aoyagi C, Onda Y, Nagamitsu S, Kodama S. Co-culture of vascular endothelial cells enhances corticosterone production in steroid hormone-producing cells generated from adipose-derived mesenchymal stromal cells. Sci Rep. 2024 Aug 13;14(1):18804.
4. Suzuki Y, Nagamitsu S, Eshima N, Inoue T, Otani R, et al. Body weight and eating attitudes influence improvement of depressive symptoms in children and pre-adolescents with eating disorders: a prospective multicenter cohort study. BMC Pediatrics volume (2024) 24(1):551
5. 松岡 美智子, 石井 隆大, 永光 信一郎, 小曾根 基裕. 精神疾患患者を親にもつ子どもへのインタビュー調査 子どもの心とからだ (2024. 11; 33(3): 298-306)

### 2. 学会発表

1. 永光信一郎. Well-care Visits ー乳幼児健診で育む、子どもの睡眠ー / 第127回日本小児科学会学術集会 (2024.4.20、福岡)

2. 永光信一郎. こどもの健やかな睡眠環境を整える／第 48 回日本睡眠学会定期学術集会 (2024.7.18、神奈川)
3. 永光信一郎. こどもの睡眠と発達・行動・心／第 48 回日本睡眠学会定期学術集会 (2024.7.19、神奈川)
4. 永光信一郎. 神経発達症が背景にある心身症の診断と治療の実際／第 33 回日本外来小児科学会年次集会 (2024.9.8、岐阜)
5. 永光信一郎. 子どもの摂食障害への対応力向上を目指して／第 64 回日本心身医学会九州地方会 (2025.2.8、福岡)
6. 永光信一郎. 小児科医の挑戦 -5 歳児健診をすべてのこどもに-／第 164 回日本小児科学会栃木県地方会 (2025.3.16、栃木)
7. 永光信一郎. ライフステージと睡眠 -小児科期からのこころの健康づくり-／APPW2025 (第 130 回日本解剖学会・第 102 回日本生理学会・第 98 回日本薬理学会 合同大会) (2025.3.17、千葉)

## G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし



# 1か月児健康診査 マニュアル

令和6年度  
こども家庭科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

こどもの健やかな成長・発達のためのバイオサイコソーシャルの観点  
(身体的・精神的・社会的な観点)からの切れ目のない支援の推進のための研究(研究代表者 永光信一郎)

研究協力機関:日本小児科医会 日本産婦人科医会 日本小児科学会  
日本産科婦人科学会 日本新生児成育医学会